児島虎次郎 もうひとつの眼

2022

7.23 (土) ▶ 9.11 (日)

会場 | 高鍋町美術館
主催 | 高鍋町美術館・高鍋町教育委員会・高鍋町
協力 | 高梁市成羽美術館
企画協力 | クレヴィス
後援 | 宮崎県・宮崎県教育委員会・宮崎県市町村教育委員会連合会・宮崎日日新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社
読売新聞社・西日本新聞社・夕刊デイリー新聞社・NHK宮崎放送局・MRT宮崎放送・UMKテレビ宮崎・エフエム宮崎

No.	概要又は《作品タイトル》	撮影場所	撮影/制作年	その他
1	海外渡航の旅券用に撮られた虎次郎		1907年	
2	佐渡丸で欧州に出発する第1回留学の虎次郎を見送る親族・友人	神戸港	1908年1月25日	
3	止宿先オテル・シュヴィヨンの自室で鏡に向かう虎次郎自写像	グレー村, フランス	1908年	
4	友人の画家たち, 虎次郎, 斎藤豊作, 有島生馬 (左から)	グレー村, フランス	1908年7月	
5	鏡に写る友人たち, 山下新太郎, 虎次郎, 斎藤豊作 (左から)	グレー村, フランス	1908年8月16日	
6	《グレー村の風景》		1908年頃	油彩・画布
7	虎次郎は止宿先の女主人など世話になった人びとの写真を撮って贈った	フランス	1908年頃	
8	止宿先前の公園で親友太田喜二郎 (右) と虎次郎	ゲント, ベルギー	1909年8月頃	
9	《家族》		1910年	油彩・画布
10	下町の家族	ゲント, ベルギー	1909年8月頃	
11	太田喜二郎の下宿先の娘で彼のモデルとなったマデレン	ゲント, ベルギー	1912年	
12	虎次郎のモデルとなったマリエット	ゲント, ベルギー	1911年頃	
13	《和服を着たベルギーの婦人》		1909年	油彩・画布
14	《河辺の風景》		1909年8月1日	油彩・画布
15	美術アカデミーの卒業記念, 太田喜二郎と学友ら	ゲント, ベルギー	1912年	
16	下宿の自室で鏡に向かう虎次郎と斎藤豊作	ゲント, ベルギー	1911年10月6日	
17	風車のそばにすわる太田喜二郎と子どもたち	オランダ	1909年9月	
18	オランダの子どもたち	オランダ	1909年	
19	美術アカデミーの工房でのジャン=ジョセフ・デルヴァン校長	ゲント, ベルギー	1909-12年頃	
20	美術アカデミーの同級生たち, 太田喜二郎 (後列右から 2人目), 卒業記念か	ゲント, ベルギー	1912年頃	
21	美術アカデミーの同級生たち, 太田喜二郎 (中央)	ゲント, ベルギー	1912年頃	
22	太田喜二郎とともにエミール・クラウスの自宅を訪ねる	アステネ, ベルギー	1910年4月	
23	第2回訪欧, 神戸を出港した静岡丸船上の記念写真, 虎次郎 (後列左端)		1919年5月	
24	自宅庭園でのエドモン・フランソワ・アマン=ジャン (左端) とその家族	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	
25	アマン=ジャン	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	

No.	概要又は《作品タイトル》	撮影場所	撮影/制作年	その他
26	大戦の激戦跡を残す市庁舎前広場	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	
27	ジェルプロワ広場のアメリ像	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	
28	マレシャル・ペタン通りの人びと	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	
29	戦災で崩壊したカルノ通りの建物	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	
30	崩壊した建物を見上げる人びと	シャトー=ティエリ, フランス	1919年11月頃	
31	クロード・モネと家族	ジヴェルニー, フランス	1920年10月	
32	自邸の睡蓮の庭を案内するクロード・モネ	ジヴェルニー, フランス	1920年10月	
33	帰国の挨拶のためアマン=ジャンのアトリエを訪問	パリ, フランス	1923年3月	
34	アマン=ジャンのアトリエに集う日本人画家たち	パリ, フランス	1923年3月	
35	虎次郎のアトリエに近いリュクサンブール公園	パリ, フランス	1919年頃	
36	リュクサンブール公園を散策する人びと	パリ, フランス	1919年頃	
37	リュクサンブール公園	パリ, フランス	1919年頃	
38	リュクサンブール公園	パリ, フランス	1919年頃	
39	リュクサンブール公園	パリ, フランス	1919年頃	
40	リュクサンブール公園の彫像ギリシアの俳優	パリ, フランス	1919年頃	
41	リュクサンブール公園の彫像ギリシアの俳優	パリ, フランス	1919年頃	
42	リュクサンブール公園の木漏れ日	パリ, フランス	1919年頃	
43	セーヌ川クルーズの船着き場	パリ, フランス	1919年頃	
44	セーヌ川クルーズ	パリ, フランス	1919年頃	
45	セーヌ川クルーズ	パリ, フランス	1919年頃	
46	クルーズの人物が手にするのは新型コダック・スペシャル・カメラ	パリ, フランス	1919年頃	
47	セーヌ川クルーズ	パリ, フランス	1919年頃	
48	クルーズ船のデッキを走る子どもたち	パリ, フランス	1919年頃	
49	クルーズ船のデッキを走る子どもたち	パリ, フランス	1919年頃	
50	セーヌ川クルーズに参加した虎次郎（右側中央）とその友人たち	パリ, フランス	1919年頃	
51	第3回訪欧, 箱根丸船上で虎次郎（左）と林彪太郎		1922年5月	
52	パリの画家仲間たち, 斎藤豊作（後列左）と虎次郎	パリ, フランス	1922年	
53	美術品蒐集にも協力した斎藤豊作	パリ, フランス	1922年頃	
54	欧州出張中の建築家薬師寺主計, プティ・パレ美術館中庭で	パリ, フランス	1922年	
55	コンコルド広場の薬師寺主計	パリ, フランス	1922年	
56	コンコルド広場, 中央人物の右手奥が薬師寺主計（二重露光写真）	パリ, フランス	1922年	
57	《ガン美術学校の教室》		1909年	油彩・画布
58	《登校》		1906年	油彩・画布
59	《卓上の花》		1910年	油彩・画布
60	《無為堂》		1926年	油彩・画布
61	虎次郎と林彪太郎, 労働衛生研究者の暉峻義等（左から）	ライプツィヒ, ドイツ	1922年9月	
62	ゲントに別れを告げる虎次郎, 聖バーフ大聖堂最上部尖塔前で	ゲント, ベルギー	1922年7月頃	
63	旧知のヴァイオリン教師の庭で	ゲント, ベルギー	1922年7月頃	
64	ヴァイオリン教師の庭で	ゲント, ベルギー	1922年頃	
65	虎次郎のモデルをつとめたマリエットとヴァイオリン教師	ゲント, ベルギー	1922年頃	

No.	概要又は《作品タイトル》	撮影場所	撮影/制作年	その他
66	マリエットと夫	ゲント, ベルギー	1922年頃	
67	ヴァイオリン教師	ゲント, ベルギー	1922年頃	
68	ヴァイオリン教師（左）とマリエットの夫	ゲント, ベルギー	1922年頃	
69	ヴァイオリン教師の妻（左）とマリエット	ゲント, ベルギー	1922年頃	
70	虎次郎とベルギー旅行をともにした中山巍	ゲント, ベルギー	1923年頃	
71	セザンヌゆかりの街のロンドの噴水	エクス=アン=プロヴァンス, フランス	1923年3月	
72	ミラボー通りの温水の噴水	エクス=アン=プロヴァンス, フランス	1923年3月	
73	ノートルダム・ド・ラ・ギャルド聖堂を遠望する港	マルセイユ, フランス	1923年3月	
74	第3回渡航の榛名丸から見るスエズ運河の眺め		1923年3月	
75	スエズ運河風景		1923年	
76	スエズ湾を行き交う帆かけ漁舟		1923年	
77	スエズ運河地帯のペリカン		1922年6月	
78	スエズ運河地帯の岸辺に立つ林彪太郎		1922年6月	
79	スエズ運河の眺望		1922年6月	
80	第2回訪欧復路の三島丸のデッキ・パッセンジャー		1921年1月	
81	第2回訪欧復路の三島丸のデッキ・パッセンジャー		1921年1月	
82	第2回訪欧復路の三島丸のデッキ・パッセンジャー		1921年1月	
83	第2回訪欧復路の三島丸のデッキ・パッセンジャー		1921年1月	
84	シタデル城壁上からの眺め	カイロ, エジプト	1923年3月	
85	マフムディーヤ・モスク前の通行人	カイロ, エジプト	1923年3月	
86	マフムディーヤ・モスク前の通行人	カイロ, エジプト	1923年3月	
87	ムハンマド・イブン・カラウーン・モスク前の親子連れ	カイロ, エジプト	1923年3月	
88	リファーイー・モスクの正面入口	カイロ, エジプト	1922年6月	
89	大スフィンクスとカフラー王ピラミッドを訪れる	ギザ, エジプト	1922年6月	
90	大スフィンクスの前に立つ虎次郎	ギザ, エジプト	1922年6月	
91	ピラミッド前の観光客たち	ギザ, エジプト	1922年6月	
92	大スフィンクスの前の観光客たち	ギザ, エジプト	1922年6月	
93	柿原政一郎, 大原孫三郎, 児島虎次郎（左から）		1913年頃	
94	長男1歳の誕生日, 虎次郎, 長男虜一郎, 友（左から）	酒津	1915年1月	
95	「児島虎次郎習作展覧会」会場	東京美術学校, 東京	1919年4月1日	
96	虎次郎アトリエで中国旅行から持ち帰った作品を見る 小林寿美太（左）ほか	酒津	1921年	
97	小林寿美太と虎次郎の長女広子	酒津	1921年	
98	友と長女広子（右から2人目）をかこむ虎次郎一家ほか	酒津	1921年	
99	長男入学式, 友, 長女広子, 長男虜一郎, 虎次郎（左から）	酒津	1922年春	
100	虎次郎不在の次女誕生記念, 長女広子, 友と次女良津子, 長男虜一郎（左から）	酒津	1922年6月	
101	友と長女広子（右から2人目）をかこんで	酒津	1924年夏頃	
102	倉敷中央病院の噴水像制作者児島矩一（左後ろ）と娘, 虎次郎と長女広子	倉敷	1924年7月	
103	彫刻家児島矩一のアトリエ	東京	1924年	

No.	概要又は「作品タイトル」	撮影場所	撮影/制作年	その他
104	岡山孤児院の庭に石井十次像（堀進二作）設置	宮崎県茶臼原	1926年1月24日	
105	病気療養中の石井十次の妻辰子（前列中央）をかこんで	酒津	1926年	
106	愛蔵カメラを前にした虎次郎の写真仲間たち	酒津	1926年冬頃	
107	無為村莊前，柳井新太郎，小林寿美太，吉田苞，虎次郎，友と次女良津子，書生（鈴木義虎）	酒津	1927年	
108	祖父母寅平と鶴	成羽	1885年頃	
109	記念対談 『児島虎次郎の旅とその記録』	1時間29分	2020年	